

～ 院長コラム ～

重症な扁桃炎

小学生の女子です。

発熱4日目で当院を受診されました。

37℃後半から38℃の発熱があり、右→左右に頸部リンパ節が腫れています。

扁桃は腫大し、白い膿がベッタリ付着しています。

抗生剤には反応せず、血液検査でも炎症反応は低いです。

溶連菌、インフルエンザ、アデノの検査キットはすべて陰性でした。

口臭も目立ち、飲み込みもつらく水分もやっと飲める程度のため点滴も行いました。

鼻声になり、しゃべるのも億劫に見えます。

検査上では陰性でしたが、いかにもアデノウイルスによる扁桃炎に見えます。

漢方薬を併用しても、1日、2でスキッと解熱する熱型ではありません。上がり下がりを繰り返して、日に日に熱のピークが落ちていくケースです。

発熱以外には目立つ症状がありません。

小柴胡湯加桔梗石膏（しょうさいことうかききょうせつこう）を内服し、桔梗湯でさらにうがいを繰り返しました。

治療を始めて3日目からきれいに解熱して、ノドの痛みだけが残りました。

なかなか、ここまで扁桃の調子が悪い扁桃炎を診ることはありません。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

漢方ファン

— Vol. 6 (2019年1月) —



 なかしまこどもクリニック